



新年明けましておめでとうございます

2014年 いのち・暮らしを守る政治の実現を一緒に！

道理を通す年に

益田牧子

2013年は、産業文化会館の
存続運動に明け暮れました。皆さん
のご協力に心から感謝申し上げます。住民監査
請求は、史上最大規模で提出できました。

しかし、幸山市長は、住民監査請求の結論も
待たず、1月にも、産文解体に着手しようとし
ています。市民不在・議会軽視も甚だしいと怒
りでいっぱいです。

2014年秋の市長選の最大の争点は、MICE 施
設建設です。350億円もの巨額のハコものを許
せば、市民のささやかな願いまで、ことごとく
削られます。大型のハコものは、時代遅れであ
り、「オンリーワン」でもありません。

11月には、市長選挙、来春には、県・市議選。
市民の声に耳を傾け、市民の暮らしや命を大切
にする「市政の転換」を何として実現したい
と、年頭から決意しています。今年も健康に留
意し、元気に、世直しを！

健康な1年に

上野 みえこ

明けましておめでとうございます。

昨年、「富士山」が世界遺産に登録されたこと
は、山好きの私にとってはうれしいニュースでし
た。加えて、「和食」がユネスコの無形文化遺産
に登録、お茶に親しみ、日本の伝統文化を大切に
したいと思っている私には、重ねてうれしいニュ
ースとなりました。かけがえのない環境や日本の
文化を大切にしたいという思いも強まります。原
発即時廃止、立野ダム建設反対、TPP 参加中止
を強く求めていきたいと思えます。

さて我が家では、大黒柱の義母が米寿、夫は還
暦を迎え、一番下の娘が大学に進学、変化の1
年になりそうです。今年の市長選、1年数ヵ月後
には政令市初の県・市議選、住民の声を市政に届
ける立場で、健康第一に頑張りたいと思えます。

みなさまにとりましても、
健康な1年となりますように。

平和と暮らし守れの声を

さらに大きく
なすまどか

昨年未だに成立した特定秘密保護法。
私たちには、国がどのような政治を行おうとし
ているのか、それを知る権利や意見を言う権利
が保障されています。

民主主義に欠かすことができないこうした
権利を奪う悪法を数の力で押し切った安倍政
権の暴走をこれ以上許すわけにはいきません。
消費税増税、介護の切り捨て、集団的自衛権の
行使など、暮らしと平和を脅かす動きに断固と
して立ち向かう一年にしていく決意です。

また熊本市政においても、大型ハコモノ計画
のムダをただし、高い国保料の引き下げ、子ど
も医療費の充実など福祉と生活を守るために
全力を尽くします。

生活相談や月一度の法律相談なども昨年同
様行います。お困りの時にはいつでもお声をか
けてください。

日本共産党 市議会だより

NO. 873

2014年新年号

発行：日本共産党熊本市議団

電話 328-2656

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

ホーム：<http://www.jcp-kumamoto.com/>

新春文化と講演のつどいにご参加ください

とき 1月19日(日) 午後1時30分～

ところ 国際交流会館 ホール



当日は、楽しい文化企画や産文会館存続の取り組みの報告などが予定されています。

桜町・大会議場、借金と維持管理費で毎年24億円の支払い 市民サービスにしわ寄せでは困ります、いのち・暮らし最優先に

12月19日、「中心市街地活性化特別委員会」が開かれ、桜町再開発・3000人大会議場のムダづかいの実態が、さらに明らかになりました

桜町再開発・350億円の事業費のうち、244億円が借金

桜町再開発の事業費は、補助金を入れて350億円と説明されています。そのうち、244億円が借金です。財政課は、「利息まで含め毎年15億円を20年払い続ける」と答弁しました。大会議場の維持管理費は、年間8.6

億円です。借金と維持管理費合わせ毎年24億円を、20年間払い続けなければなりません。(市債の償還が20年)その後は、施設が存在する間、永久に毎年8.6億円の維持費が必要です。

市民への説明責任を果たすこと！ 説明会や公聴会の開催を要望

補助金も含め350億円以上の税金を投入する桜町再開発の3000人大会議場は、今後の市政のあり方を左右する大事業です。しかし、市民への説明がほとんどなされていません。

特別委員会では、3月をめどに市が行おうとしている「都市計画決定」に際し、国土交通省も開催すべきとしている「公聴会・説明会」を開くよう求めました。

市は、期間もとって周知し、丁寧に説明できる説明会・公聴会等を開くことを約束しました。

また、他の委員からも、多額の事業費を投入することになる桜町大会議場について、財政見通しを示すことや丁寧な説明をすることなど、要望がありました。



年間8.6億円の維持管理費は もっと高くなることも可能性大です

維持管理費の中には、年間3.32億円の大規模改修積立金も含まれていますが、少なすぎます。通常は建設費相当額を積み立てるので、もっと高くなります。しかも建設費そのものがかなり高くなると見込まれるので、積立金も維持管理費も立はもっと必要です。

「24億円」は、 産文会館の改修費用に相当します

「24億円」と言えば、これまで市が高いと説明してきた産業文化会館の改修費用26億円に相当します。桜町の大会議場の維持は、産業文化会館の改修を20年続けるようなものです。

桜町再開発に市が負担する土地代は、なんと「85億円」

これまで、資産価値を明らかにするように求めても「企業情報なのでできない」と拒んできましたが、こちらの資料で追及すると、渋々認めました。交通センターや県民百貨店など、桜町

再開発の土地・建物代の資産価値は、産交の帳簿上236億円であることを認めました。それを再開発事業の従前資産としてみると、それよりも低い資産価値であると、市は答弁しました。

「大型ハコモノ」のムダづかいを止め、市民の願い実現へ

「大型ハコモノ」建設をすすめれば、大切な市民サービスにしわ寄せが来ます。整備中止を求め、市民の願いこそ、実現すべきです。

- 住宅リフォーム助成制度 3億円の予算で32億円の地元発注
- 国民健康保険料 11億円で1世帯年1万円値下げできます
- 特定健診 年間3600万円で無料にできます
- さくらカード 2億3000万円で高齢者も障害者も無料に！
- 鍼灸マッサージ 3000万円で現行・年30回を60回に
- 「生きがい作業所」 年間356万円で存続できます
- 学校給食費 2億9600万円で月額500円の値上げは中止に